



向陽高校は、スーパーサイエンスハイスクール（5年間）の指定を受け、4年目に入りました。



環境科学科2年 「SS 探究科学Ⅱ」選択生が 向陽中学3年生にポスターセッション発表



平成21年3月10日（火）の5限、環境科学科2年「SS探究科学Ⅱ」選択生が、向陽中学3年生を対象にポスターセッションを行いました。内容は、「SS探究科学Ⅱ」の授業で、1年間行ってきた課題研究の成果についてです。

課題研究は、物理・化学・生物・数学・環境の5つのゼミに分かれて取り組んできました。中学生たちは、各々興味のあるポスター発表の前で説明を受け、研究内容について熱心に質問をしていました。

SSH報告

環境科学科2年

「SS探究科学Ⅱ」選択生が向陽中学3年生にポスターセッション発表

環境科学科2年

第2回わかやま自主研究フェスティバル成果発表会に参加



第2回わかやま自主研究フェスティバル成果発表会で、各賞を受賞 「アラレタマキビ（巻貝類）の潮位変化にともなう行動について」最優秀賞 「りんごによるエチレン発生のしくみ」「化学発光物質の研究」優秀賞

「植物体内のアスコルビン酸量の研究」「光周期がアベハゼのタンパク代謝に及ぼす影響」佳作



平成21年3月27日（金）、和歌山県立図書館（きのくに志学館）2Fのメディアアートホールおよび研修・講義室において、第2回わかやま自主研究フェスティバルが行われました。

本校からは、「SS探究科学Ⅱ」の授業で進めてきた課題研究「アラレタマキビの潮位変化にともなう行動について」「りんごによるエチレン発生のしくみ」「化学発光物質の研究」「植物体内のアスコルビン酸量の研究」「光周期がアベハゼのタンパク代謝に及ぼす影響」の5班が参加し、プレゼン発表と展示発表を行いました。発表会には、和歌山大学や他校からも、福祉や情報、科学などの幅広い領域について、自主研究活動報告がありました。

審査の結果、「アラレタマキビ研究グループ」が最優秀賞、「エチレン研究グループ」と「化学発光研究グループ」が優秀賞、「アスコルビン酸研究グループ」と「アベハゼ研究グループ」が佳作を受賞しました。



第2回わかやま自主研究フェスティバル講演会 ～ TANSTAAFL (There Ain't No Such Thing As A Free Lunch) 無料の昼食は無い～ 秋山演亮氏



第2回わかやま自主研究フェスティバル講演会では、和歌山大学戦略的・大学間連携支援事業担当特任教授の秋山演亮氏が「TANSTAAFL 無料の昼食はない」についてお話してくださいました。初めに、「月は無慈悲な夜の女王」や「火星年代記」などの書物の内容を紹介しながら、どうして宇宙に興味をもつようになったのかについて、説明していただきました。また、ロケット開発の歴史や日本のロケット技術、缶サットなどについても教えていただきました。ロケットガール&ボーイ養成講座では、高校生が高さ約2m、全重約7kgのハイブリットロケットの製作を行っているということでした。



2009年度国際ユース作文コンテスト お知らせ

テーマは、「より良い世界を築くために、科学が果たす役割」で、1600字（400字詰原稿用紙4枚）以内。
応募締切は、6月30日（火）必着。
その他、詳しいことが知りたい人は、生物準備室のSSH事務局まで。

SSH関係 1年間の予定（2年生）

4月から、SSHに関連した行事が始まっていますが、詳しいことは、またSSH NEWSで紹介しますが、1年間の流れは右のようになっています。

- 4月14日 探究科学Ⅱ始まる。
ゼミ別研究室連携事業
テーマ別課題研究始まる。
 - 7月21日～23日 サイエンスツアー（東京・筑波）
 - 8月 SSH全国研究発表会（代表者）
- その他、SSH成果発表会等があります。
詳細については後日。

